

| 特集 | 教えて先輩! 看護って何?

現場のどうしよう、困ったを解消する

看護理論



原作: 中村 創

(なかむら・はじめ)

医療法人資生会千歳病院・
精神看護専門看護師



漫画: 水谷 緑

(みずたに・みどり)

<https://mizutani-midori.com>

何が看護で、何が看護でないか

「Aさんをどう捉えたらいいんでしょう」「Bさんに何ができるんでしょうか」。そんなふうに悩む声を、病棟詰所や訪問看護ステーションで聞くことがあると思います。そんな時、先輩や上司が答えてくれたことがあるでしょう。ある先輩は、自分が経験あるいは学習したことから答えてくれたでしょう。

私たちは「看護の視点」で患者さんを捉え、「看護の立場」で患者さんにサービスを提供しています。私たちは看護師です。ですから患者さんに提供するサービスは「看護」でなければなりません。ラーメン屋がうどんを出して「はい、ラーメンお待ち」と言ったらおかしいように、看護以外のことを「これが看護です」と言ってサービスを提供することは詐欺です。こうならないためには「何が看護で」、「何が看護でないか」を知らなければなりません。では看護とは何でしょうか。その問いに答えてくれるのが「看護理論」です。

看護という現象を説明したものが看護理論

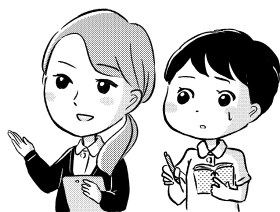
しかし「看護理論」と聞くと、「難しい」「とっつきにくい」「現場でどう活かせばいいのかわからない」といった想いを持つ方もいると思います。

私は看護理論を難しいと感じるのは、「そもそも看護が難しいものだから」だと思っています。いまだに迷うことは多いです。看護は難しいのです。誰にでもできることではないのです。「看護師」だからこそできるのです。ですから看護師は看護が何かを知っていなければなりません。「看護理論」とは「看護」という現象を説明したものです。

では看護理論を生み出したのはいったい誰なのでしょう。それは看護理論家と呼ばれる先輩たちです。看護理論家たちを「先輩」と呼ぶことには皆さん抵抗があるのでしょうか? ですが、看護理論家たちも臨床現場に立っていました。皆さんと同じ苦労もしていたはず。そして苦労しながら看護とは何かを考えていました。そんな苦労を経て工夫や発見が生まれ、その積み重ねの上に「看護とは何か」という説明が生まれました。ですから、私は看護理論を「先輩が後輩に伝える看護」だと捉えています。

本稿は、新人看護師が精神科の臨床で迷いや困難に出会った時、現場の先輩が看護理論を基に一緒に考えてくれるという設定にしました。読者のみなさんも、新人看護師のつもりで、先輩から話を聞く感覚で読んでいただければと思います。

なお、本稿で解説する看護理論は、筆者である私が要約し、解釈したものに基づいています。要約したうえに解釈しての説明ですから物足りなさを感じる方もいらっしゃるでしょう。物足りなかった方は本元の看護理論を紐解くことをお勧めします。本稿が看護を考えるきっかけとなることを願っています。



先輩

新人